

# 教労 21C

連絡先 tkondot3@nifty.com

HP <http://www.wb.commufa.jp/inchi74/>

## 安倍内閣の「戦争法案」にNO! —教え子を再び戦場に送るな—



### ●国民不在の戦争準備に危険を感じませんか

安部内閣は、これまでの自民党政府の憲法解釈を変更し、集団的自衛権（他国が攻撃を受けたとき、日本が武力で攻撃することです。他国が起こす戦争に、日本が加わるようになります。）の行使を容認する安全保障法案（戦争法案）を今国会で成立させようとしています。この法案については各種世論調査でも「反対」が「賛成」を上回り、今国会での成立に過半数が反対しています。戦争をするための法整備をいそぐ安倍政権に危険を感じています。

世論調査 (共同通信 3/28)	安保法制について	反対 45.0%	賛成 40.6%
	今国会での成立について	反対 49.8%	賛成 38.4%

### ●戦争立法で武力行使が可能に

かつてのベトナム戦争も、アフガニスタンやイラクでの戦争も、アメリカが自国防衛を口実に始めた戦争でした。アメリカの同盟国は「集団的自衛権」にもとづいて、これらの戦争に兵士を送り、多くの犠牲者をだしました。しかし、日本は憲法9条が歯止めとなり、一人の犠牲者も出していません。それがいま、変えられようとしているのです。

ベトナム戦争の米兵の死亡者 46,370 名、韓国兵 4,968 名。英国兵の死亡はアフガニスタンで 453 名、イラクで 179 名。(兵隊以上に、子ども、婦人など多くの市民が犠牲になっています。)

### ●戦争NO!の声を

さまざまな思想信条を有する「日本弁護士会」も「戦争は最悪の人権侵害」ということで行動を始めています。また、知多半島では、「戦争は絶対にダメ！知多半島市民の集い」が計画されています。(集会の詳細は裏面参照)

元市長・元町長・  
大学教授・元学  
長・元校長・住職・  
俳優・・・「戦争  
はダメ！」の一点  
で協力・共同して  
集会を開催。

**NO  
WAR!**

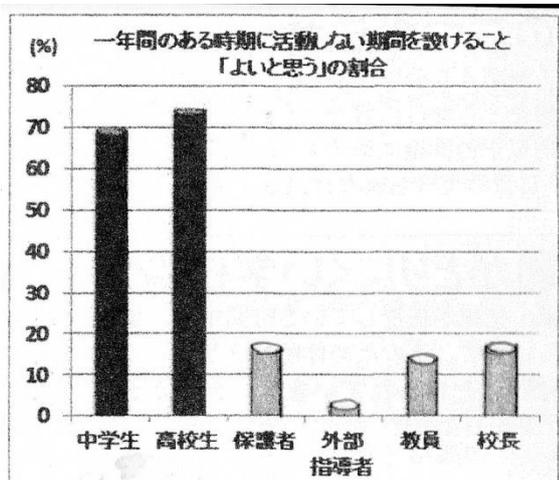
## 部活動を考える

### ● 部活動 「休みなし」の春休み！？ 子どもも本当は休みたい・・・

春休み、ほとんど毎日部活をされていた先生も多いと思います。そういう先生方も知っておいていただきたいデータがあります。

これは、神奈川県教委が2013年に実施した調査に基づき、名古屋大学大学院の内田良准教授が作成されたものです。まとまった休みをとることについて、子どもと大人の間には大きな意識の差があることが分かります。中高生の約7割が休みたいと考えているのに対し、保護者・教員・校長でそう考えているのはいずれも2割未満、外部指導者にいたってはわずか4%です。

「目の前の子どもたちのため」というのが私たち教員の合言葉ですが、私たちは本当に子どもの実態を正しくとらえているのでしょうか。もう一度、子どもたちと謙虚に向き合うことが大切だと思います。



#### <参照>

長期休業中の部活動については、上記の学期中の休業日の設定に準じた扱いを行うとともに、ある程度長期のまとまった休業日を設け、生徒に十分な休養を与える。

(運動部活動運営参考資料「みんなでつくる運動部活動」より \*文科省発行)



### ● 部活動 やりたくない生徒や教員にも一律に参加が強要されている

部活動顧問を拒否する動きがネット上で広がっています。「私も顧問を拒否します」を検索)部活動の顧問を必ず引き受けなければならないという規定は存在しません。県教育委員会も「教員が時間外に部活動指導を強要されることはない」と明確に述べています。生徒の参加も、学習指導要領では自主的・自発的なものとされており、全員を強制的に所属させる今の指導の在り方(中学校)は問題です。

部活動がなくなれば、つい後回しになってしまう教材研究や学級経営などの仕事に十分時間をかけることができます。また、家族とともに時間を過ごしたり、趣味を楽しんだりすることもできます。

部活動をすべて廃止すべきだと訴えているわけではありません。問題なのは、部活動をやりたくない生徒や教員にも一律に参加が強要されていることです。

#### ミニ情報

部活や学校教育の在り方に問題提起をしている名古屋大学大学院の内田良准教授の「部活動リスク研究所」「学校リスク研究所」(検索)をご覧ください。この間、「二分の一成入式」「生活科のおいたち学習」「やめたほうがよい 運動会の組み体操」などの問題提起が「Yahoo」でも話題を集めています。

例えば、内田准教授の「緊急提言 組体操は、やめたほうがよい 組体操リスク」の1年後の今年は新たな動きがありました。

- ① 「小六 教育技術5月号」(小学館)では、今までの全面的な推奨から「組み体操はやめるべきか? ケガを抑制するために 組体操から考える体育科の安全指導」と安全指導を厳しく訴える特集を設けています。
- ② 「徐々に段が増えていき、市内の小学校では7段まで実施。人間ピラミッドの高層化は行わず、4段までにする方針。見栄えよりも安全性を考慮していきたいと考えています。」

(長久手市 平成27年度3月定例教育委員会 会議録)

長久手市  
組体操のあり方変更

---

## 声・声・声・声・声

---

日進A中・・・校内労働安全衛生委員会が、全職員参加対象で開催されました。当委員会は労安法に基づき、必ずおこなうべき会議です。法律に基づかない学校保健委員会とは主旨も内容も異なるものです

日進B中・・・スーパーの買い物ついでにグラウンドを見てみると、家庭の日である第3日曜日に部活動がおこなわれていました。

(活動してはならない日に行うとは・・・)

東郷C中・・・専門業者が、職場の背丈を超える構造物をアンカーボルトで固定しました。作業環境がまた一つ改善されました。

長久手D小・・・「安倍政権の暴走は目に余る。なんで、みんな投票するんかね？誰が自民党に入れるんかね？」「道德の教科化なんて、考えられない。ありえない。おかしい教育になってきたね。」(職員室と印刷室にて)

地区内学校・・・療休者及病気休職者の話を良く聞きます。多くの方はメンタルに問題を抱えています。職場でお互いをサポートしているだけでは限界があります。

